

高齢者の詐欺被害傾向を測る 詐欺脆弱性尺度の妥当性評価に関する研究

京都府立医科大学附属病院精神科・心療内科では、京都府警察本部特殊詐欺対策室から得られたデータおよび弊診療科の診療録（カルテ）と調査票情報を使って下記の臨床研究を新たに実施しています。実施にあたり京都府立医科大学医学倫理審査委員会の審査を受け、研究機関の長より適切な研究であると承認されています。

研究の目的

本研究では、軽度認知機能障害患者さんと地域在住高齢者さんにおいて、詐欺被害経験の有無、認知機能などと詐欺脆弱性尺度（詐欺のあいやすさ）との関係を調べ、詐欺にしやすい人の特徴を評価する方法を明らかにすることを目的としています。

研究の方法

対象となる方について

2018年6月1日から2019年12月31日までの間に、京都府立医科大学附属病院認知症疾患医療センターを再受診した認知症患者および地域在住高齢者のうち「高齢者の詐欺被害を防ぐ詐欺脆弱性判定ツール開発のための研究」（ERB-C-1151-2）に同意いただいた方

2019年1月1日から2019年12月31日までの間に、京都府警察本部特殊詐欺対策室が実施した「高齢者の詐欺被害を防ぐ脆弱性テスト作成のための調査」に同意いただいた方

研究期間： 医学倫理審査委員会承認後から2023年3月31日

方法

2018年6月1日から2019年12月31日までの間に実施した「高齢者の詐欺被害を防ぐ詐欺脆弱性判定ツール開発のための研究」（ERB-C-1151-2）に同意いただいた方と2019年1月1日から2019年12月31日までの間に京都府警察本部特殊詐欺対策室が実施した「高齢者の詐欺被害を防ぐ脆弱性テスト作成のための調査」に同意いただいた方を調査し、詐欺被害の有無、認知機能などと詐欺脆弱性尺度の関係を調べます。

研究に用いる情報について

年齢、性別、教育年数、居住形態、家計満足度、外出頻度、診断、詐欺脆弱性尺度、詐欺被害経験、孤独感（UCLA 孤独感尺度）、抑うつ症状（GDS-15）、全般的認知機能検査の結果、認知症の重症度、ADL、IADL、ソーシャルサポート尺度などをカルテおよび調査票を用いて調査します。

個人情報の取り扱いについて

カルテ情報や調査票情報をこの研究に使用する際は、氏名、生年月日などの本人を直ちに特定できる情報は削除し研究用の番号を付けて取り扱います。本人と研究用の番号を結びつける対応表のファイルにはパスワードを設定し、インターネットに接続できないパソコンに保存します。このパソコンが設置されている部屋は、入室が管理されており、第三者が立ち入ることができません。京都府警察本部から提供いただいた調査票情報はすでに研究用の番号が付されており、本人を直ちに特定できる情報は削除されています。

また、この研究の成果を発表したり、それを元に特許等の申請をしたりする場合にも、患者さんが特定できる情報を使用することはありません。なお、この研究で得られた情報は個人情報管理者（京都府立医科大学医学部精神医学教室・助教・上野大介）の責任の下、厳重な管理を行い、患者さんの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

情報の保存および二次利用について

カルテや調査票から抽出した情報は原則としてこの研究のために使用し結果を発表した後は、京都府立医科大学大学院精神機能病態学において個人情報管理者（助教・上野大介）の下、10年間保存させていただいた後、研究用の番号等を削除し、廃棄します。

保存した情報を用いて将来新たな研究を行う際の貴重な情報として、前述の保管期間を超えて保管し、新たな研究を行う際の貴重な情報として利用させていただきたいと思います。新たな研究を行う際にはあらためてその研究計画を医学倫理審査委員会で審査し承認を得ます。

研究組織

研究責任者：京都府立医科大学医学部精神医学教室・助教・上野大介

研究分担者：京都府立医科大学医学部精神医学教室・成本迅、松岡照之、綾仁信貴、中村佳永子、加藤佑佳、大工泰裕、天野丞可

情報提供機関：京都府警察本部特殊詐欺対策室・警部・藤井康伯

お問い合わせ先

患者さんのご希望があれば参加して下さった方々の個人情報の保護や、研究の独創性の確保に支障が生じない範囲内で、研究計画及び実施方法についての資料を入手又は閲覧することができますので、希望される場合はお申し出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて本人さんもしくは本人さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、2023年3月31日までに下記の連絡先までお申出ください。その場合でも不利益が生じることはありません。

京都府立医科大学医学部精神医学教室

助教・上野大介（研究責任者）

電話：075-251-5612